

確摩小  
児童の登校  
交通安全を  
みんなで守ります



# 議会だより

## さつま No.77

令和6年5月2日発行

- 令和6年度当初予算 ..... P2～P3
- 各議案審議結果 ..... P4～P5
- 常任委員会審査、補正予算 ..... P6～P8
- 一般質問（8人） ..... P9～P16
- 防衛施設等調査特別委員会 ..... P17
- 議会モニター ..... P18～P19
- 議会活動、議会日程、編集後記 ..... P20

《さつま町ホームページ》  
<https://www.satsuma-net.jp>



## 町議会の流れ（定例会）

## 令和6年度 一般会計当初予算

予算総額  
**140億7,200万円**

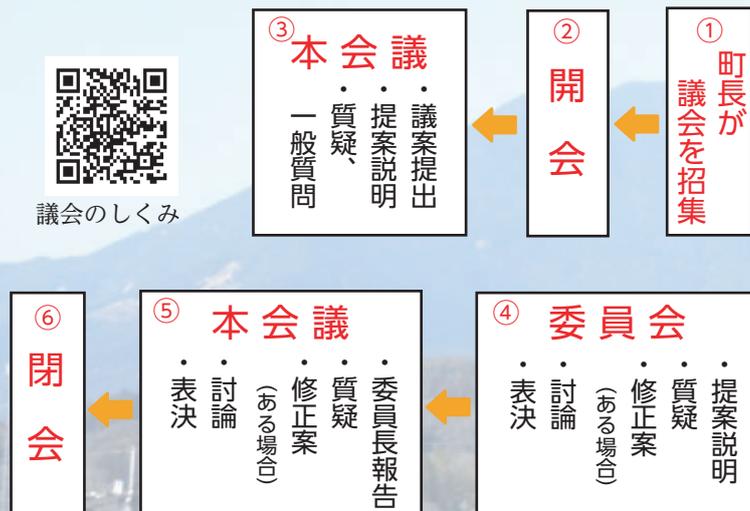
前年度比 4億8,300万円 減

当初予算 ここがポイント！

- 1 未来への投資（挑戦）
- 2 生きここの良いまち
- 3 さつま町で学べる喜びと教育の振興
- 4 頑張る地域、人の応援



議会のしくみ



### ポイント2

#### 生きここの良いまち

住んでみたい、住んで良かったと思えるような、安全・安心なまちづくりを行います。

#### 【新規】

地域子育て支援拠点事業 1,140万円

令和6年度より宮之城ひまわり館内に（仮称）こども館を設置し、室内でいつでも集える場の確保を行います。



#### 【拡充】

放課後児童健全育成事業費 5,249万円

町内全ての小学校区に放課後児童クラブを開設し、保護者が安心して働ける環境となります。

#### 【継続】

予防接種事業費 2,428万円

季節性インフルエンザ等各種予防接種に係る補助を行います。令和6年度から新たに带状疱疹の予防接種に対して補助を行います。

#### 【継続】

心の通う福祉の町づくり推進事業費 2,161万円

高齢者の健康増進や福祉の向上を図るため、高齢者いきいきチケットの交付を行います。

### ポイント1

#### 未来への投資（挑戦）

持続的な地域発展を意識した未来への投資を積極的に推進します。

#### 【新規】

SDGs推進事業費 367万円

事業者におけるSDGsを推進するため、事業者を対象としたセミナーの開催やコンサルティング業務支援、事業者のSDGs宣言を行うための宣言書作成支援に関する補助を行います。



#### 【新規】

観光総務費 1,839万円

町の観光情報を幅広くPRしながら観光振興を図ります。また、ほたる再生プロジェクト検討会の開催を計画しています。

#### 【拡充】

移住定住促進事業費 1億509万円

移住定住に関する情報発信を行い、定住人口の増加を図ります。その一環として新卒者・転入者就労支援や若者定住家賃補助等を行います。

#### 【継続】

ゼロカーボン推進事業費 1,500万円

カーボンニュートラルを推進するため、太陽光発電や蓄電池設置、電気自動車等購入に対し補助を継続します。

# 令和6年度各会計当初予算

会計名		令和6年度	令和5年度	増減額
一般会計		140億7,200万円	145億5,500万円	▲4億8,300万円
特別会計	国民健康保険事業	28億1,862万円	28億5,657万円	▲3,795万円
	後期高齢者医療	4億1,910万円	3億9,107万円	2,803万円
	介護保険事業	31億8,330万円	34億3,838万円	▲2億5,508万円
企業会計	上水道事業	8億1,644万円	6億3,287万円	1億8,357万円
	農業集落排水事業	1億3,206万円	1億2,060万円	1,146万円
合計		214億4,152万円	219億9,448万円	▲5億5,297万円

※金額は千円単位を四捨五入、▲はマイナス（端数処理のため合計が一致しない場合があります。）

## ポイント4 頑張る地域、人の応援

稼ぐ力を創造し、活力ある農林業と町内商工業の活性化に取り組みます。

### 【拡充】

**6次産業化推進事業費** 805万円

新たな加工食品の開発や加工技術の取得、農商工連携による地元食材のPRや新たな特産品開発を推進します。

### 【新規】

**企業振興費** 3,217万円

企業の進出や事業拡大等に対する支援を行うとともに、町の産業振興と雇用の拡大に繋がります。また、新企業の雇用確保と定住促進を図るため社員用住宅の建設等に対し補助を行います。

### 【継続】

**ふるさとさつま応援寄附金事務費**  
3億7,886万円

さつま町にふるさと納税をより行っていただけのようなPR活動を行うとともに、更なる返礼品の発掘を行います。

### 【継続】

**薩摩のさつまブランド  
共創推進事業** 372万円

ブランド実践型セミナーや城山ホテル鹿児島との連携イベント等を開催し、薩摩のさつまブランドの更なる知名度・魅力向上を目指します。



薩摩のさつま  
PR動画

## ポイント3 さつま町で学べる喜びと教育の振興

教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の推進に取り組みます。

### 【拡充】

**小学校共通管理費** 1億2,495万円  
**中学校管理費** 5,693万円

学校トイレの洋式化に向けた設計や小学校に監視カメラの設置等を行います。

### 【継続】

**給食センター費** 8,327万円

安全・安心な学校給食の提供に努め、学校給食を通して地産地消及び食育の推進を行います。また、保護者の負担軽減のため給食費助成を継続します。

### 【新規】

**文化センター管理運営費** 1億2,408万円

老朽化等により大規模改修を行う宮之城文化センターの本館とホールを設計を行います。



### 【新規】

**さつま町学びのイノベーション  
プロジェクト(SMIP※)事業** 28万円

町内小中学校で行われる授業に他校教員が自由に参加し、相互に事業を研究・分析を行うこと、また、町外校の先進的な授業を視察することで授業力の向上に繋がります。

どのような採決を？

3月定例会 審議議案と議員の賛否

上程議案・概要・結果 賛成：○ 反対：× 欠席：欠 全賛…全員賛成で可決・認定・採択 賛多…賛成多数で可決・認定・採択 賛少…賛成少数で否決・不認定・不採択 賛無…賛成無しで否決・不認定・不採択	結果	新	平	上	橋	中	上	森	新	平	有	古	岸	上	川	柏	宮
		改	山	園	之	村	別	山	改	八	川	田	良	久	口	木	之
		幸	俊	一	口	慎	府	大	秀	重	美	昌	光	澄	憲	幸	尚
		一	郎	行	富	一	ユ		作	輝	子	也	廣	雄	男	平	美
<b>令和6年度 さつま町歳入歳出予算</b>																	
一般会計予算 140億7,200万円	全賛	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国民健康保険特別会計予算 28億1,862万円	全賛	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
後期高齢者医療特別会計予算 4億1,910万円	全賛	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
介護保険事業特別会計予算 31億8,330万円	全賛	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
上水道事業会計予算 収益的収入 4億4,167万円 収益的支出 4億812万円 資本的収入 2億741万円 資本的支出 4億832万円	全賛	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
農業集落排水事業会計予算 収益的収入 7,173万 円 収益的支出 6,706万円 資本的収入 4,906万 円 資本的支出 6,501万円	全賛	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<b>条例の制定・一部改正・人事・その他</b>																	
さつま町手数料徴収条例の一部改正 戸籍法等関係法令の一部改正に伴うもの	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
さつま町監査委員条例等の一部改正 地方自治法の一部改正に伴うもの	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
さつま町学校跡地等利活用促進条例の制定 学校跡地等施設の利活用を促進するため条例を制定するもの	全賛	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
さつま町職員の給与に関する条例等の一部改正 地方自治法等の一部改正に伴うもの	全賛	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
さつま町社会体育施設条例の一部改正 屋外照明施設の名称変更に伴うもの	全賛	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
さつま町公の施設使用料徴収条例の一部改正 宮之城総合体育館の空調設備整備等に伴うもの	全賛	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
さつま町学童館条例の一部改正 永野学童館の廃止に伴うもの	全賛	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
さつま町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正 母子保護法施行規則等の改正に伴うもの	全賛	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
さつま町重度心身障害者医療費助成条例の一部改正 重度心身障害者医療費助成制度の対象者の拡大等に伴うもの	全賛	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
さつま町介護保険条例の一部改正 介護保険料の改定に伴うもの	全賛	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
さつま町指定地域密着型サービス事業の人員、設備及び運営の基準に関する条例等の一部改正 介護保険関係基準省令の改正に伴うもの	全賛	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
さつま町企業立地促進条例の一部改正 助成対象事業を拡充に伴うもの	全賛	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
さつま町営住宅等条例の一部改正 湯之坊団地1棟4戸の用途廃止に伴うもの	全賛	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
さつま町水道事業給水条例及びさつま町水道事業布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部改正 水道法の改正に伴うもの	全賛	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
さつま町消防団員の定員、任免、給与、服務に関する条例の一部改正 団員の定数見直しに伴うもの	全賛	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

(注)議長は議事進行を行うため賛否の表明はしません。

上程議案・概要・結果 賛成:○ 反対:× 欠席:欠 全賛…全員賛成で可決・認定・採択 賛多…賛成多数で可決・認定・採択 賛少…賛成少数で否決・不認定・不採択 賛無…賛成無しで否決・不認定・不採択	結果	新 改 幸 一	平 山 俊 郎	上 園 一 行	橋 之 口 富 雄	中 村 慎 一	上 別 府 ユ キ 大	森 山 大	新 改 秀 作	平 八 重 光 輝	有 川 美 子	古 田 昌 也	岸 良 光 廣	上 久 保 澄 雄	川 口 憲 男	柏 木 幸 平	宮 之 脇 尚 美
字の区域変更 本町内の字の区域変更に伴うもの	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町道路線の廃止又は認定 町道路線の廃止、認定に伴うもの	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
地方創生道整備推進交付金事業川口平川線橋梁上部工架設工事請負 変更契約の締結 変更契約に伴うもの	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
さつま町税条例の一部改正 地方税法の一部を改正する法律等の施行に伴うもの	全賛	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
さつま町教育委員会委員の任命 教育委員会委員の任命に伴うもの	全賛	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人権擁護委員候補者の推薦 人権擁護委員の推薦に伴うもの	全賛	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人権擁護委員候補者の推薦 人権擁護委員の推薦に伴うもの	全賛	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
さつま町副町長の選任 さつま町副町長の選任に伴うもの	全賛	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<b>令和5年度 さつま町補正予算</b>																	
一般会計補正予算(10回目) 6,668万円 増額	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
後期高齢者医療特別会計補正予算(2回目) 5万円 増額	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
農業集落排水事業特別会計補正予算(1回目) 4,586万円 減額	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
一般会計補正予算(11回目) 2億5,869万円 減額	全賛	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国民健康保険特別会計補正予算(3回目) 1,517万円 増額	全賛	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
後期高齢者医療特別会計補正予算(3回目) 769万円 減額	全賛	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
介護保険事業特別会計補正予算(5回目) 3億1,644万円 減額	全賛	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<b>陳情</b>																	
陳情第1号 町議会と町が一体となった自衛隊施設誘致活動を町議会はやめるように求める陳情書(詳細は17ページ)	賛無	×	×	×	×	欠	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
陳情第2号 川内原発20年延長に関する陳情書	賛無	×	×	×	×	欠	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
陳情第3号 川内原発20年延長に関する陳情	賛無	×	×	×	×	欠	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

(注)議長は議事進行を行うため賛否の表明はしません。

**どうなった！あなたの陳情**

総務厚生常任委員会に付託された

2件の陳情を審査しました

**不採択** ○川内原発20年延長  
に関する陳情書

◎陳情者

武 さとみ氏

**不採択** ○川内原発20年延長  
に関する陳情

◎陳情者

岩崎 ワカ氏

◇議員の審査意見

・川内原子力発電所の20年運転延長については、原子力規制委員会が運転延長申請を許可し、立地している薩摩川内市並びに鹿児島県が容認していることから、さつま町は近隣町ではあるが意見を述べる立場ではない。  
・大規模災害等予想以上のことが発生する可能性や原子力災害の危険性は理解するも、運転延長に関する基準は満たしている。  
・能登半島地震等も踏まえ原子力災害時の避難計画の見直し等が必要であると考えるが、運転延長に反対をすることは別と考える。  
・川内原子力発電所を視察し、津波対策等も含め安全対策は十分であると考える。

※今回の陳情2件は内容に関連があったため一括して審査しました。

総務厚生  
常任委員会  
3月11日～13日開催

介護保険条例の一部改正など  
議案13件を審査  
委員会に付託された議案を全て可決

学校跡地等利活用促進条例の制定

**問** 譲渡や貸し付けの際に違反行為があった場合を想定した条例等を定める必要はないか。

**答** 本条例内で譲渡等の禁止を定めており、適用事業所は利用目的に沿った利活用を10年間は行うよう明確にしている。また、適用を受ける事業所は申請書提出時に、検討委員会において、事業計画や事業実績、会社の状況等について十分審議をし、適用事業所に適しているか決定を行っている。

介護保険条例の一部改正

**問** 今回の介護保険料改定は所得の少ない方々は減額となるように設定されているが、所得階層別の構成割合はどのようになっているか。

**答** いわゆる低所得者と言われる、第1段階から第3段階までが全体の53・3%を占めており、高所得者と言われる第9段階から第13段階は2・3%の割合である。



令和6年3月末で閉校となった旧永野小学校

消防団員の定員、任免、給与、服務に関する条例の一部改正

**問** 定数の見直しにあたって各分団の内情等を十分考慮されたか。

**答** 幹部会議等で各分団から意見集約を行い、実情も踏まえ定数を決定した。

令和6年度一般会計  
予算（関係分）

高等学校振興  
対策事業費  
（1378万9千円）

**問** 薩摩中央高等学校の紫雲寮に入寮する生徒が増える見込みであるが、希望者が入寮できないなどの問題はな

**答** 現状定員が全体で26名であり、令和6年度も遠方からの入寮希望も多く、女子生徒は定員を超過見込みである。隣接する教職員住宅の活用について県教育委員会に要望活動を行い、定員超過に対する検討が進められている。

地域子ども・子育て  
支援事業費  
（3222万8千円）

**問** （仮称）こども館を開設した場合、職員が常駐するのか、また開館時間はどのようになるのか。



様々な振興策を講じている薩摩中央高校

**答** 詳細をこれから協議していくことになるが、職員については常時1人の配置を想定している。開館時間については、平日は保育園に通っていない子どもが対象になると考えており、10時から15時位まで、土日については人材不足もあるが、可能であれば土曜日も開設したいと考えている。

要請

社会福祉協議会で使用している部屋を活用することから、業務に影響がないよう社会福祉協議会職員からも十分に聞き取りを行うよう要請しました。

当初予算歳入全般

**問** 令和6年度の新たな自主財源について具体的な案があるか。

**答** 財政運営を考えた時、歳出の削減と歳入の確保の二面を考えた運営をしていく必要がある。財源の確保については、町税の課税客体的な把握に基づく適正な課税や滞納整理による徴収の強化はもちろん、今後伸びる可能性のある「ふるさと応援寄附金」等に入力し、財源を確保していきたいと考えている。



町ホームページ等で  
ふるさと応援寄附金を募集

文教経済  
常任委員会

3月11日～13日開催

公の施設使用料徴収条例の一部改正など

議案7件を審査

委員会に付託された議案を全て可決

公の施設使用料徴収  
条例の一部改正

令和6年度一般会計  
予算（関係分）

**問** 宮之城総合体育館  
メインアリーナの冷暖  
房を半分だけ使用する  
料金が設定されている  
が、空調効果は十分に  
得られるのか。

**答** アリーナの一部分  
を使用する場合には冷  
暖房を半分だけ使用す  
ることも想定しており、  
空調効果についても影  
響はないと考えている。



改修工事の終了した  
宮之城総合体育館

特産品直売所・  
農産物加工センター

管理運営費  
(1505万3千円)

**問** 農産物加工センタ  
ーの施設修繕や備品購  
入等に多くの予算が計  
上されているが、利用  
者数や新しい特産品の  
開発状況はどのよう  
になっているか。

**答** 令和4年度の実績  
は利用者数が5169  
人で、特に町外の利用  
者が増えている。また、  
薩摩のさつまの認証品  
も加工センターから誕  
生しており、良好な運  
営が図られていると認  
識している。

鉄道記念館

維持管理経費  
(555万6千円)

**問** 宮之城鉄道記念館  
と永野鉄道記念館の統  
合について、どのよう  
に進めていく考えか。

**答** 鉄道記念館の関係  
者による鉄道記念館在  
り方検討会を設置し協  
議を進めていくが、宮  
之城鉄道記念館を永野  
鉄道記念館に集約する  
方向で考えている。

指定文化財保護・郷土  
芸能保存活動関連費用  
(305万円)

**問** 郷土芸能の保存活  
動は衰退傾向にあるが  
保存継承をどのように  
考えているか。

**答** 平成21年の調査で  
郷土芸能の活動団体は  
62団体であったが、現  
在は14団体と減少して  
いる。人口減少や高齢  
化等により保存継承が  
困難になっていること  
から、代表者等と意見  
交換を行い各団体への  
支援策などを講じたい。



求名区公民館 鷹踊り  
(産業祭&JA農業祭)

文化センター管理運営費  
(1億2408万円)

**問** 宮之城文化センタ  
ーは崖上に建設されて  
おり、約50年前の建設  
当時に打った杭が今で  
も機能しているのか疑  
問であることから、大  
規模改修前に地盤調査  
をして安全性を担保す  
る考えはないか。

**答** 文化センター建設  
当時にボーリング調査  
を行い、杭186本を  
支持基盤まで打ってい  
ることから強度は問題  
ないと考えている。杭  
自体の確認は地中にあ  
ることから難しいが、  
旧鶴田中学校を解体し  
た際には杭自体に問題  
はなかったと建築技術  
専門監から聞いており、  
文化センターについて  
も問題はないと考えて  
いる。しかし、大規模  
改修に伴い一定程度の  
調査は必要になると考  
えており、法面につい  
ては強度を上げて保護  
していく必要があると  
検討したい。

多額の経費をかけた改  
修になるので、安全性  
を第一に取り組みたい。

委員会意見申入れ

この回答を受けて、  
委員会として、執行機  
関において「宮之城文  
化センターの大規模改  
修を実施する前に試掘  
等の調査を行い、地盤  
の安全性を十分確保し  
たうえで改修を進める  
べきである」との意見  
を付して町長に申し入  
れました。

令和6年度上水道

事業会計予算

**問** 建設改良費が大幅  
に増額されているが老  
朽管の更新はどの程度  
進むのか。

**答** 主な増額理由は佐  
志地区の水道施設更新  
であり、老朽管につい  
ては3か所、その他漏  
水対応等も含め合計14  
か所の配水管改良工事  
を予定している。老朽  
管の更新については、  
これまでの工事計画に  
大きな変更はない。

令和5年度各会計補正予算

一般会計の最終補正予算では、新型コロナウイルスの影響等により保健衛生費、総務管理費、社会福祉費及びその他所要の経費を補正するもので、歳入歳出それぞれ2億5869万円を減額し、予算の総額を166億3112万円とするものです。

特別会計については、国民健康保険事業は一般被保険者高額療養費が増額となり、後期高齢者医療は広域連合への納付金等、介護保険事業は居宅介護サービス給付費等、農業集落排水事業は工事請負費等がそれぞれ減額となっています。

令和5年度各会計の最終予算額

会計名	補正額	予算額	
一般会計(第11号)	▲2億5,869万円	166億3,112万円	
特別会計	国民健康保険事業(第3号)	1,517万円	29億2,803万円
	後期高齢者医療(第3号)	▲769万円	3億8,378万円
	介護保険事業(第5号)	▲3億1,644万円	33億1,990万円
	農業集落排水事業(第1号)	▲4,586万円	7,474万円

(金額は千円単位を四捨五入、▲はマイナス)

4件の人事案件に同意

副町長

定例会最終日に副町長の選任の議案が提案され、議長を除く14人の議員による無記名投票が行われ、全員が賛成し同意されました。



角 茂樹氏(60歳)  
【さつま町出身】  
職歴  
平成31年4月～  
企画政策課長  
令和4年4月～  
危機管理監 総務課長

任期(新任)

令和6年4月1日  
～  
令和10年3月31日

教育委員会委員

さつま町教育委員会委員の任命が行われました。

再任  
新任 智子氏

人権擁護委員候補者

人権擁護委員候補者の推薦が行われました。

再任  
久保 聡子氏  
再任  
上別府 裕人氏

令和6年第2回(6月)定例会は6月3日開会予定です。

6月定例会予定 議運…議会運営委員会、全協…全員協議会

日	月	火	水	木	金	土
5/19	20	21	22	23	24 議運	25
26	27	28 全協	29	30	31	6/1
2	3 本会議 (開会日)	4	5 本会議 (一般質問)	6 本会議 (一般質問)	7 本会議 常任委員会	8
9	10 常任委員会	11 常任委員会	12	13	14	15
16	17	18	19 議運 全協	20	21 本会議 (閉会日)	22

日程は変更になることがあります。  
詳しくは議会事務局(24-8911)にお問い合わせください。

○日程等は、防災行政無線放送や町ホームページで事前にお知らせいたします。

○鶴田支所、薩摩支所のロビーに設置してあるテレビやインターネット(YouTube)で、本会議の中継を視聴することができます。



QRコードを読み取るとライブ中継画面のページが表示されます。

# 一般質問

# 町政を問う



## 一般質問とは…

各議員が住民の代表として、町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針を聞き、町当局の考え方や疑問をたずねることで、単に疑問を解消し、事実関係を明らかにするだけではなく、現行政策の提言をする議員の重要な活動です。

本町議会の質問時間は、質問と町長等の答弁をあわせて1人60分以内となっており、3月定例会では8人の議員が一般質問を行います。

### 平山 俊郎(10 ページ)

- ・自衛隊施設の誘致について

### 上久保 澄雄(11 ページ)

- ・高齢者福祉の推進について
- ・自然災害等に対する防災対策について

### 川口 憲男(12 ページ)

- ・公約の推進状況について

### 古田 昌也(13 ページ)

- ・町民サービスの向上について
- ・自家用有償旅客運送について
- ・観音滝公園について

### 橋之口 富雄(10 ページ)

- ・公民館の現状と課題について



### 上別府 ユキ(14 ページ)

- ・人権を尊重するまちづくり
- ・带状疱疹ワクチン接種費用の助成について
- ・高齢者福祉について

### 中村 慎一(15 ページ)

- ・施政方針の人口減少対策について
- ・歴史ゾーンの周辺整備の取組と将来に向けたビジョンについて

### 有川 美子(16 ページ)

- ・施政方針について
- ・医療について
- ・教育行政について

一般質問関係の記事は、各議員から提出された原稿を基に、質問議員の責任において掲載しています。



傍聴時の注意点



議会を  
傍聴しませんか

本会議と委員会の模様は、議場や委員会室で傍聴できます。また、本会議はインターネットでライブ中継を視聴できます。議会傍聴の際は予約不要です。ただし座席に限りがありますのでご了承ください。また、議会中継は両支所でもご覧いただけます。

是非ご覧ください。



平山議員の一般質問は  
こちらから視聴できます

防衛施設

町民への説明を

町長／国に丁寧な説明を要望



平山 俊郎 議員

問

先日、防衛省から防衛施設関連建設調査に関して、正式発表と概要等の説明があったが、安全性や透明性が気になるところである。町民に対しての説明責任は重要だと考えるが、どのような形での説明会を考えているのか。また、町民と情報を共有することが重要だが、どのように考えているのか。

答

防衛・安全保障政策は国の専管事項であるが、町としては防衛施設の整備に関して、住民の間に不安や懸念が生じないように国に対し丁寧な情報提供に努め、十分な説明責任を果たすよう求めていく。さらに鹿児島県とも情報を共有し、連携を図っていく。

誘致になった

場合は

町長／  
担当窓口など

検討する

問

仮に調査が適正適地と判断され、防衛施設誘致に成功した場合、本町はどのような対応を考えているのか。その時のための対策や要望等を考えているのか。

答

まず、庁舎内にも担当の窓口が必要と思われることから今後専門の担当などを配置して、事業の推進を図る事も検討しなければならぬと考える。



薩摩地区で開催された住民説明会



橋之口 富雄 議員

地域支援

公民会の現状と課題は

町長／積極的財政・人的支援



橋之口議員の一般質問は  
こちらから視聴できます

問

各地域における公民館及び公民会に求められる役割が多様化し、複雑化してきている。加入しない家庭が増える中、公民会の役割が出来ていないと感じている。公民館・公民会の役割、活動などをどのように考えているか。

答

区公民館、公民会は町の基盤を成すものである。地域の活力低下は、町の維持・発展に大きく影響して来る。今後とも必要とされる取組に関して、積極的な財政支援、人的支援等を講じていく。



毎年開催されている  
地区行政推進委員・公民会連絡委員研修

問

少子高齢化に伴う人口減少の中、これから先の公民会合併やリーダー育成についてどのように考えているか。

答

公民会数については、平成17年の市町村合併時の156から129に減少しており、運営の効率化・円滑化等を目的に合併が進められた。公民会の合併では、それぞれの課題や必要性に応じた対応が必要。自分が住んでいる地域を愛し、地域づくりに情熱を持っている人材づくりが最も重要と考えている。

合併や  
リーダー育成は  
町長／地元愛の  
深化が重要



上久保 澄雄 議員

福祉行政

高齢者福祉の充実を

町長／各種のサービスを推進



上久保議員の一般質問は  
こちらから視聴できます

問

国における様々な施策が推進される中、デジタル化や交通政策など高齢者には厳しい現実がある。また、マクロ経済スライド(※)等により、家庭経済への影響も大きく、高齢者が安心して暮らせる施策を推進する必要があると考えるが。

答

今年度策定した高齢者福祉計画等に基づき、次の4項目を重点事項として推進していく。  
① 高齢者世帯の支援  
② 移動手段のない高齢者の支援  
③ 認知症対策の推進  
④ 介護人材の確保  
更に、物価高騰対策等の確な対策に取り組む。

※マクロ経済スライド：そのときの社会情勢(現役世代の人口減少や平均寿命の延び)に合わせて、年金の給付水準を自動的に調整する仕組み。

問

高齢者が培ってきた優れた技能・知識等を活かし、社会で活躍する場を確保するなど、正に「異次元の高齢者対策」として本町独自の施策を推進することも重要と考えるが。

答

すでに、現在働いている方も実際おられ、働くことで健康にもつながり生き甲斐づくりに繋がっている。また、前面上出でいたでいて、働くという雰囲気づくりが必要と考えている。



さつま町高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画

本町の実態と対応は

町長／1件の避難措置を実施

問

高齢者虐待は令和3年度全国で1万6千人余り、本県でも令和4年度に124件発生しているようである。他の自治体では、一時的な保護、避難等に対し、必要な経費の一部を支援しているところもあるようだが、本町の対応は。

答

養護者による虐待は、令和元年度から令和5年度まで5件、うち高齢者福祉施設への避難措置は1件である。措置理由は高齢者と家族による身体的・心理的虐待であり、年度初めに締結する町との短期利用業務委託契約に基づく一時的な保護措置を行った。

問

短期利用業務委託契約以外に要綱等を定めて対応する考えはないか。また、本人負担が生じない方法は考えられないか。

答

業務委託契約に基づき、養護老人ホームの場合は1日当たり3810円の委託料を支出することとしている。なお、要綱等の制定については、指摘のあった事例等参考とした。

危機管理

防災マップの見直しを

町長／

実用性のある計画に

問

川内原子力発電所を中心とした30km圏内UPZ区域の避難経路等は同一経路に集中するなど、一斉避難となれば複合的な災害も加わり混乱は避けられない。実態に即応した内容となるよう、適宜見直しが必要では。

答

町としても大規模災害に備え複合災害の図上訓練を実施し、備蓄を含む事前準備と一層充実した訓練が必要である。県の防災計画の見直し検討に合わせ、更に実用性のある計画にしていく必要がある。



川口議員の一般質問は  
こちらから視聴できます

地域活性

地域振興は前進したか

町長／魅力的な町づくりを



川口 憲男 議員



↑芝桜植栽（虎居地区）

↓地域での清掃活動（あながわ公民会）



**問** 地域活性化策に  
ついて、これまで、  
積極的推進や総合戦略  
への取組等答弁が行わ  
れた。以前の答弁では、  
集落支援員・地域担当  
職員を配置し地域活性  
化を進めており、検討  
組織を設置し検討する  
とあったが、地域の活  
性化・コミュニティの  
持続可能な活動に結び  
ついているか。

**答** コロナや災害対  
応で人口減対策・  
産業振興・地域活性化  
等の地域振興策に十分  
な対応が出来なかった  
と感じている。町が元  
気で持続的に発展する  
ためには、町民の生活  
の質の向上が必要。人  
口減少が進む本町では、  
移住・定住政策も非常  
に重要であり、町民の  
福祉の増進と共に持続  
可能な町の形成には欠  
かす事の出来ない取組  
みだ。地域振興は担い  
手なしでは出来ない。  
各分野の連携した取組  
みで魅力的な町づくりに  
取り組む。

**問** 庁舎内で横断的  
な取組を行うとの  
ことであるが、具体的  
な動きは。移住・定住  
から人口増を図るとの  
考えだが、政策を大き  
く変えられたことのそ  
の意図は。

**町長／横断的な  
取組を継続  
に向けた動きは**

**問** 本町の良さをい  
かに町外に広める  
か。自然・心豊かさ、  
川内川も良い方向に活  
かす工夫が必要では。  
化学肥料の低減・減農  
薬等みどりの食料シス  
テム総合戦略に取組み  
も出ているが、環境に  
優しい取組の支援策は。

**町民一体の  
取り組みは  
町長／町民が  
できる範囲で**

**答** 人口減少問題に  
ついて調査検討を  
進め、実効性のある総  
合的な移住・定住対策  
を推進する目的でプロ  
ジェクトチームを設置  
した。各課が担当する  
事業の中から人口減少  
の歯止めにつながる事  
業を洗い出し、その事  
業がどのような形で移  
住・定住に反映させら  
れるか、検討・研究し  
事業化に取り組んだ。  
課の枠を越えた横断  
的な取組は今後も引き  
続き行う。

**答** 行政だけでなく  
町民一人ひとりが  
「できる事の範囲」で  
取り組むこと、普及啓  
発が重要であると考え、  
町民・事業所等への出  
前講座、広報紙での取  
組紹介等、幅広い世代  
への普及啓発を図った。  
町としては「希望輝く  
さつま町SDGs推進  
宣言」の具体的な取組  
に、ゴミ減量化・3R  
運動の推進による循環  
型社会の構築等、カー  
ボンニュートラルの実  
現に向けて太陽光発電

システムと蓄電池の導  
入支援により再生可能  
エネルギーの自給率向  
上に向けた取組も進め  
ている。



町公式の移住定住サイト



古田 昌也 議員

職員体制

来年度の組織再編は

町長／詳細な業務分担等を



古田議員の一般質問は  
こちらから視聴できます

**問** 昨年12月議会で課設置条例が可決され、縦割りが解消された組織体制だと考えている。しかしながら、町民サービスも多様化、複雑化する中、十分に準備できているのか。また、鶴田地区、薩摩地区の支所の人員が減るが、住民サービスの低下についてはどのように考えているのか。

**答** 現行組織の各課等を7つの部会（総務・民生・住民環境・産業経済・建設・教育・消防）に編成した上で問題点等について意見を申し出し、議論を尽くした。最終的には、第3回本部会議で決定した。支所業務の在り方については、業務分担等の協議を続けて行く。

**問** 自家用有償旅客運送事業の実証実験を、昨年泊野・白川地区で行っていたがその成果と課題をどのように考えているのか。また今後はどのような形で事業を検討しているのか。

**実証実験**

町長／  
分析・調整・課題を検証

自家用有償旅客運送は



**答** 昨年11月19日から、3カ月にわたる、本町として初めての試みとなる実証実験を行った。土曜日、日曜日のみの運行で、1便当たりの乗車人数は平均2.2人だった。実証実験が短かった事などで十分な分析が行えていないが乗合タクシーやコミュニティバスとの調整が課題である。今後、平日運行など様々なパターンで実証実験を考えている。

**双方協議**

町長／  
本町へ返還の意思表示

観音滝公園の現状は

**問** 新型コロナウイルス感染症が5類になり、観光事業に大きな期待が出来る。しかしながら本町の観光地の一つである、観音滝公園の動きが見えない。その事をどのように考えているのか、またどうしたいのか。

**答** 町としては新たな賑わいの場として運営継続を提案してきたが、本年2月20日に、文書で観音滝公園については貴町に返還したいとの意思表示があった。早期の返還に向けて、譲渡先と双方協議を続け解決に進めていきたい。

**要請** この回答を受け、一刻も早い開園と譲渡先企業へ誠意をもって対応するよう要請を行った。



休園中の観音滝公園



上別府議員の一般質問は  
こちらから視聴できます

施政方針

ジェンダー平等推進は

町長／「しあわせプラン」で



上別府 ユキ 議員



町主催の男女共同参画セミナー

問

「平等と多様性を尊重するまちづくりの現実を目指す」と施政方針であるが、男女共同参画・ジェンダー平等の理解を深める視点に立って推進する考えはないか。

答

令和3年3月「しま町男女いきいきしあわせプラン」で、「男女共同社会実現に向けた意識づくり」や「推進の教育・学習の充実」、「政策や方針決定への女性参画拡大」に取組み、しま町SDGs推進宣言においても、多様な人々が共生する社会・ジェンダー平等実現を掲げている。

問

年1回開催している「男女共同参画セミナー」の実施頻度を増やさないか。また、次代を担う子どもに対しての取組は。

答

このセミナーは町民対象で県アドバイザー派遣事業を活用している。受講しやすい環境づくりや機会の充実に努める。今後は、町PTA連絡協議会などと呼びかけ開催方法も考えていく。また、町内小中学校では、男女共同参画教育の学習機会提供、教職員対象の校内研修を実施。「いのちを育む事業」で小5～中3年生まで継続した指導を実施し、ジェンダー平等意識の醸成に努めている。

保健福祉

带状疱疹予防対策は

町長

ワクチン接種費用助成

問

带状疱疹は成人の9割以上に発症のリスクがあり、50歳以上の発症率が高い。令和6年度で带状疱疹ワクチン接種費用の助成を行う方針であるが、その具体的な内容は。

答

助成対象は50歳以上の希望者で、生ワクチンは1回限りの上限4千円、不活化ワクチンは1回あたり上限1万円を2回まで助成する。

包括連携

組織再編で福祉行政は

町長

密接な連携強化で対応

問

一、令和6年度の組織再編で保健福祉課と高齢者支援課が統合されるが今後の高齢者福祉はどうなるか。

二、複雑化している福祉に関する制度や法律、地域課題に対し、迅速に判断対応できるのか。

答

一、新たな「ほけん福祉課」では、保健・福祉施策、介護保険施設及び高齢者施設等と密接な連携強化を図り、これらの施設と総合的・包括的に対応していく。

二、福祉ニーズが複雑化、複合化する状況で、包括的に福祉サー

ビスを提供していく体制の構築が必要。具体的に①緊急災害時の支援体制②日常生活支援③一体的実施の健康増進体制④重層的支援体制などを強化し、対応していく。



带状疱疹予防接種の  
詳細はこちらからご確認ください



中村 慎一 議員

移住定住

人口増への住宅政策は

町長／民間力を最大限に活用



中村議員の一般質問は  
こちらから視聴できます

問

一、人口減対策として進める民間アパート等の建設補助は、取組への疑問も聞く。町内経営者への影響はないか。官民の合意形成は大事だ。

二、また移住定住の空き家バンクに民間の賃貸物件まで加えて、家探しの窓口を一元化、コンシェルジュ（※1）の取組の考えは。

答

一、昨年、民間アパート等の空き家無く、町内に住宅確保が出来なかったことから、若い世代の転出抑制、ニーズに合った良質な住宅の提供、民間投資により地域経済の活性化を図りたい。同業者への説明不足は否めないが、今後取組みたい。

二、家探しがしやすいように窓口の一元化は検討したい。

※1  
コンシェルジュ：

総合世話係

住宅団地の開発は

町長／重要、調査研究したい

民間事業者と連携した住宅団地開発について道路等への事業支援により分譲価格を安く、より良い街づくりに向けた住宅地開発に関与する考えはないか。

問

民間事業者と連携した住宅団地開発について道路等への事業支援により分譲価格を安く、より良い街づくりに向けた住宅地開発に関与する考えはないか。

答

民間の団地造成は地域の発展に重要。民間開発の促進を図る公的な支援制度により事前に計画に関与できれば、安く供給できる。自治体の取組例も多く調査研究を進めたい。

地域の体験ハウスは

町長／最大限に民間力で

町長／最大限に民間力で

問

リノベ（※2）・リフォームによる体験ハウスを設置して地域の移住定住を推進し、また事業支援により販売価格を安く定住を推進する考えはないか。

答

体験ハウスは宮之城屋地に2戸設置しており、必要に応じて民間のリノベ住宅を案内している。管理面からも最大限民間力を活かしたい。

※2  
リノベ：

リノベーションの略。既存の建物に大規模な改修を行い、現状よりも高い性能にすること。

観光振興

歴史ゾーン周辺整備は

町長／早期整備を要望



吊り橋を設置予定の虎居城跡地

問

県立公園の歴史ゾーンの周辺整備の取組と将来に向けたビジョンは。観光の核として町民の関心も高い。アユ漁やホタル観光を風物詩として人を惹きつけ楽しめる、魅力ある地域やまちづくりへの総合的な取組を職員共々鋭意進めて欲しい。

答

歴史ゾーンは6年度吊り橋の上部工事が予定され、他に広場、散策園路等が計画されている。埋蔵文化財調査の進捗を見ながら進められており、国への要望も進めている。虎居河川敷の川まちづくりから宗功寺エリアまで含め大きな範囲でのビジョンが必要。地域の魅力が移住定住につながると思う。対策を進めたい。



有川 美子 議員

施政方針

全町的防災訓練の実施を

町長／喫緊の課題と認識



有川議員の一般質問は  
こちらから視聴できます

**問** 巨大地震等（原  
子力災害）の具体  
的災害を想定した全町  
的防災訓練の実施を。

**答** 本町近辺では南  
海トラフ地震、さ  
つま町直下型地震等が  
あり、全町的防災訓練  
は喫緊の課題と認識し  
ている。町一斉防災訓  
練を皮切りに、初動訓  
練や災害への備えの浸  
透に取り組む。

子育て・介護人材確保は  
町長／様々な支援を継続

**問** 子育て人材・介  
護人材不足に対す  
る今後の方針は。

**答** 子育て人材バン  
クの事業周知と雇  
用先のニーズ調査を指  
示した。介護現場のI  
CT活用やDX推進、  
資格取得や法定研修費  
用を助成する。

**問** 積極的な人事確  
保の取組として、  
介護人材バンク創設を  
提案したいがどうか。

**答** 他自治体の取組  
等を今後研究して  
いきたい。



福祉行政

先天性欠損早期発見を

町長／調査・研究する

**問** 従来の検診では  
発見できない先天  
性欠損歯や過剰歯は増  
加傾向。小学校低学年  
の歯科検診にレントゲ  
ン撮影を導入できない  
か。

**答** 学校での健康診  
断は病気の疑いを  
見つけることが目的。  
現状の制度では難しい。

**問** 先天性欠損は将  
来にわたり影響が  
ある。学校検診で難し  
いのであれば、新規事  
業として取り組めない  
か。

**答** レントゲン撮影  
については、今後、歯  
科医師会とも協議をし  
ながら、いろいろなこ  
とを調査研究してい  
きたい。

日曜・休日当番制充実を  
町長／歯科診療は  
前向き協議

**問** 当番医に小児科  
・ 歯科を求める声  
がある。医療体制の充  
実を図る考えはないか。

**答** 小児科は2医療  
機関のみでこれ以  
上の休日診療は難しい。  
歯科診療は、薩摩郡歯  
科医師会との協議を進  
めたいと考えている。

将来の  
教育ビジョンは  
教育長／新年度に  
計画策定取組

**問** 小・中学校の再  
編もひと区切りと  
なるが、今後5年10年  
後の児童・生徒数を見  
据えた学校教育ビジョ  
ンは。

**答** 令和6年度は「今  
後の児童数減少に  
よる学校再編」も重点  
課題の一つとして、7  
年度からの第3次教育  
振興基本計画の策定を  
進める。国の第4期教  
育振興基本計画の教育  
コンセプトや学習指導  
要領をふまえ、本町の  
児童生徒たちには、ど  
のような社会にあって  
も生涯にわたって学ば  
うとする意欲と自ら未  
来を切り拓き、社会の  
変化に主体的に対応で  
きる資質・能力を育成  
したいと考えている。  
地域のニーズや社会的  
要請に応じた計画の策  
定に取り組む。



## 陸上自衛隊富野分屯地弾薬支処を視察

令和6年1月30日にさつま町議会議員研修視察として、福岡県北九州市の陸上自衛隊富野分屯地弾薬支処への現地視察を行いました。

富野分屯地は陸上自衛隊で全国に14箇所、九州では2箇所しかない弾薬庫の1つであり、北九州市小倉北区足立山の山中に設置されています。こちらの施設は昭和16年に旧陸軍の火薬庫として建設されたものを改修し、現在、陸上自衛隊弾薬支処として活用され、施設内には弾薬関連施設と管理施設があり、約50名の隊員が勤務をされています。

支処での業務は、弾薬等の補給・保管・整備・検査及び回収であり、弾薬等は外部で製造されたものが運ばれ、弾薬庫で保管をしています。富野分屯地は地中式（トンネル式）の火薬庫が設置され、保安距離（学校や病院等の施設までの距離）を確保出来る地域において、定められた設計基準に基づき設計されており、安全性に問題はなく、これまで火災や爆発等の事故は発生していません。



富野分屯地弾薬支処の概要について説明を受ける

今回の視察は、防衛省が令和6年度にさつま町内において防衛施設設置のための調査費用を予算計上することに伴い研修視察を実施しました。研修視察では会議室での施設の概要説明と現場での視察が行われ、安全性など十分理解が出来たと感じております。

なお、町民の弾薬庫に対する不安の払拭については、今後も国や町と情報共有を行い、情報を町民にも発信していくことで理解と協力を頂くことが必要であります。

## 防衛施設等調査 特別委員会を設置

委員長 古田 昌也  
副委員長 有川 美子  
委員 議長を除く全ての議員

国が現地調査費用を予算計上したことを受け、議会として防衛施設等の誘致や適地調査等について調査・研究を行う目的で、令和6年2月26日に設置されました。  
町民からの様々なご意見を聞き、議会独自の調査を行ったうえで、本町への防衛施設等の誘致について協議していきます。

特別委員会に付託された  
陳情1件を審査しました

不採択

町議会と町が一体  
となった自衛隊施設誘致活動を町議  
会はやめるように  
求める陳情書

◎陳情者

河野 修一氏

◇議員の審査意見

・国防に関する事項は一般住民に対してすべ  
てを明らかにされるべきではない。  
・防衛施設の誘致を求  
める陳情や請願につい  
ては、数回の継続審査  
を行い、時間を費やし  
慎重に審議をして採択  
し、議会としての決定  
を行ってきた経緯があ  
る。平成30年6月27日  
に請願を採択したとい  
う政治的な意思表示を  
もとに活動している。  
・議長が町長と共に要  
望活動を行っているの  
は、全員協議会で承認  
を得たことを根拠とし  
ている。  
・人口減少問題や町政  
発展を見据え、まちの  
再生を1つの目標とし  
て誘致活動を行っている。  
・令和2年に防衛大臣  
に提出した誘致に賛同  
する約2600人の署名  
は、相当な重みがある  
と捉えている。

## 議会モニターにどう映った？さつま町議会

1年間で年4回の定例会が行われており、たくさんの議員の方が一般質問をされましたが、一般質問をされていない方も見受けられましたので、せめて1年に1回か2回ぐらいは、一般質問に立っていただきたい。  
(70代男性)

初めてさつま町の傍聴席で傍聴させていただいたが、なかなか議会というのは民主主義には程遠いのだと感じた。  
(60代女性)

議場内が非常に静かで、これから論戦をする場所であるが、雰囲気的に熱気あるいは、覇気、元気がないなという感じを受けました。傍聴席に人がいないから元気がないのかなという感じで見えており、やっぱり議会に関心を持つ人が少なく、まだまだ議会に対する関心が薄いなと思いました。  
(70代男性)

選挙に行く意識を高めるにはどうしたらいいのだろうと思い、自分もよく選挙があるタイミングでSNSで発信をしている。しかし、実際議員さんがどんな人なのだろうと、身近になかなか感じることができず、結局誰を選べばいいのか分からないと、自分の周りの人と話をすることがあった。  
(30代女性)

ここが  
まだまだ気になる！

一般質問通告内容が抽象的な表現になっており、一般の方の興味が湧きづらいのでは。  
(70代男性)

議会モニターになる前は、ライブ中継を見ていなかったが、なってからは議会をYouTubeで視聴するようになった。しかし、見ていない方も多いので、更に見ていただけるような工夫が必要では。  
(50代女性)

まちづくりは、町長や議員さん方だけでなく、私たちがやっぱり興味関心を持って、行動を起こしたり、意見を出したりしていくことで、良いまちが作られていくのだなということ、この一年でさらに感じました。  
(30代女性)

政務活動費に関しては、やはり必要だと思いました。  
(70代男性)

町のためには、まず小さな地域から立ち上がっていかないといけないと感じている。これからも議員一人ひとりの力を合わせて、さつま町のためにがんばっていただきたい。  
(70代男性)

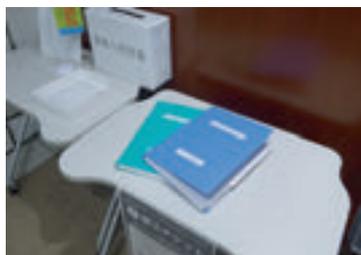
私たちは  
今後もここに注目！

新しい方が広く議員に立候補できるように、セミナーなどを開催してみてもどうか。  
(70代男性)

議会だけの議会モニターでなく、行政モニターや町政モニターなど広く町民の意見を聴く場所があっても良いのではないかと。  
(50代男性)

私自身が何か議会について耳に入ってきて、議会について何か知ろうということがなかったので、今回議会モニターをさせていただいて本当に良かった。  
(40代男性)

さつま町議会は今後も議会改革に取り組んでいきます！



傍聴席に閲覧用の議会資料を準備



町内商店等へ議会だよりの設置

**ご意見も募集しています**  
さつま町議会に対するご意見等を広く聴取していますので、議会事務局までお知らせください。  
メール：gi-giji@satsuma-net.jp

## 全6回の議会モニター会議を開催

# 議会に届け、町民の声

全6回のモニター会議を開催し、各定例会の傍聴及び視聴を終えての意見聴取や意見交換、議員報酬や政務活動費に関するアンケート調査を踏まえた意見聴取を行いました。

この1年で議会モニターから議会運営等に関する様々な意見をいただき、その意見等を議会改革に反映させてきました。

令和6年度は今後の議会モニター制度の在り方や取り扱うテーマ等調査・研究を行います。



議会モニターの意見は  
HPにも掲載しています



No.	項目	ご意見・提言を いただいた人数	件数
1	本会議の傍聴(視聴)に関すること	18	41
2	委員会に関すること	3	14
3	議会に関すること	11	17
4	議会だよりに関すること	6	7
5	議会ホームページに関すること	1	2
6	町民と議会との意見交換会に関すること	1	1
7	決算特別委員会に関すること	3	9
8	その他に関すること	8	9
9	議会改革・活性化について	4	4
10	町政に関すること	16	37
11	一般質問に関すること	10	48
12	町議会モニター会議に関すること	1	1
13	総括	3	4
合計		85	194

議会モニター10人から  
13項目  
194件  
のご意見・ご提言

モニターの方々には定例会ごとに、それぞれ報告書の提出やお集まりいただいたの意見聴取で感想やご意見をいただきました。中には非常に手厳しい意見もありましたが、私共もモニターの方々の意見を基にしながら、その都度、各議員にもお知らせをして、修正すべきところについては、修正をはかってきたところであります。

初めてのモニター制度の導入で、非常に戸惑いもありましたが、モニターの皆さん方には終始熱心なご意見や感想等を述べていただき、非常にありがたく思っております。

今後も、モニター制度を継続できればよかったです。令和6年度は、令和7年4月にさつま町議会議員選挙が予定されており、また各団体からもご希望等もございますので、そちらを優先しながら今後のモニター制度の取扱いについてもあわせて考えていきたいと思っております。

皆様方から様々なご意見等をいただきましたが、一挙に解決できない問題、5年、10年、大きなスパンで考えなければならない問題等もあります。また行政も非常に複雑多様化する住民ニーズの中で、手探りの状態で今進めているという状況もあります。課題が大きく、なかなか解決できないこともあります。このような問題につきまして、住民の意見を尊重しながら議会としても、行政としても進めていくべきと考えておりますので、今後ともよろしくお願いたします。



モニター制度を振り返る  
宮之脇議長

議 会 活 動



高知県津野町議会  
議会モニター・議会中継システムに関する行政視察受入  
(4月10日)

4月10日	28日	17日	2月26日 3月26日	1月30日	令和6年
行政視察受入 (高知県津野町)	第6回議会モニター会議 関連記事P18～19掲載	北薩横断道路(広瀬道路) 開通式	第1回定例会(3月議会) 及び 各常任委員会等	陸上自衛隊富野分屯地 弾薬支処視察 (福岡県北九州市) 関連記事P17掲載	

議員4名が永年勤続(自治功労者)表彰を受賞

今回の表彰は、議会議員として永きにわたり地方自治の振興発展に尽力された方へ送られるものです。25年表彰を柏木議員、川口議員、平八重議員が、15年表彰を森山議員が受賞されました。



柏木 幸平 議員

46歳で旧宮之城町の議会議員選挙に立候補し、7期連続で当選させていただきました。皆様のご支援に感謝申し上げます、これからも信頼される議員を目指していきます。



川口 憲男 議員

町民の皆さんのご支援のおかげで議員として25年迎える事が出来ました。今後も初心を忘れず、地域の活性化に全力投球で取組み、さつま町の発展に出来る限り努力をいたします。



平八重 光輝 議員

議員として多くの皆様にご支援され25年が経ちました。心より感謝申し上げます。さつま町も人口減少が進みますが、いつまでもやさしい町であることを願っております。



森山 大 議員

地域の皆さんと一緒に、また、さつま町民の安心・安全を守り対応して来た結果だと思えます。本当にありがとうございます。これからも一生懸命頑張っていきます。

編 集 後 記

みずみずしい若葉の緑に心が癒される季節となりました。今年の春先は、雨や風の日が多く折角の花々の見頃もあっという間に過ぎてしまったようです。

さて、3月議会は令和6年度当初予算や条例、陳情など多くの議案が提出され、多岐にわたり審議がなされました。一般質問でも、防衛施設、地域支援、防災対策など幅広い質問が繰り広げられました。

それらを、QRコードを使用しウェブサイトにご誘導したり、動画などで深読みできるように限られた誌面で工夫を凝らしております。また、今回から各議員の賛否のページを設けてみました。

まだまだ、「これだいい」というラインへは届きませんが、町民の方々に「読みやすく、興味を持って手にとって」いただけるよう、挑戦し続ける議会だよりづくりに努めてまいります。

(上別府 ユキ)

議会広報特別委員会

- 委員長 有川 美子
- 副委員長 平山 俊郎
- 委員 橋之口 富雄
- 委員 上別府 ユキ



《表紙紹介》

令和6年4月に開校した薩摩小学校では、地域の方々に見守られながら子ども達が元気に登校しています。横断歩道の前ではしっかりと停止し、右左を確認してから手を上げ道路を横断します。